

令和6年第15回教育委員会会議

1 日 時

令和6年12月20日(金)

開会 15時00分

閉会 15時50分

2 場 所

県庁行政庁舎 17階 教育委員会室

3 出席者

北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、眞鍋知子委員、新家久司委員、高野勝委員、辻奈穂子委員

4 説明のため出席した職員

原敬教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、北島公之教育次長兼学校指導課長、筒井諒太郎事務局課長、山本一彦庶務課長、高倉英明教職員課長、新谷貴晴生涯学習課参事、池田正明文化財課長、瀬戸博邦保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第41号 石川県文化財保護審議会委員の委嘱について（原案可決）

議案第42号 教職員の人事について（原案可決）

6 報告

報告第1号 令和7年度石川県公立学校教員採用候補者（追加募集）の選考結果について

報告第2号 石川県立あすなろ中学校の開校に向けて（出願状況）について

報告第3号 いしかわ高校生グローバル人材育成推進事業の実施状況について

7 審議の概要

・開会宣告

北野教育長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第41号及び議案第42号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。

・質疑要旨

以下のとおり。

報告第1号 令和7年度石川県公立学校教員採用候補者（追加募集）の選考結果について（高倉教職員課長説明）

「令和7年度石川県立公立学校教員採用候補者（追加募集）選考結果」について、ご説明申し上げます。

昨年度に引き続き、今年度7月に実施しました選考試験においても受験者が0人であった教科「福祉」につきまして、採用候補者を確保するため、追加募集を行い、選考試験を実施しました。

お手元の資料4ページをご覧ください。

はじめに、「1. 候補者数」についてですが、受験者4人の中から、採用候補者として2人を選考しました。

その結果、最終的な競争倍率は、2.0倍となっております。

「2 結果発表等」につきましては、12月6日（金）午後3時に、採用候補者の受験番号を県教委のホームページで公表するとともに、全受験者あてに結果を発送したところであります。

「3 今後の予定」につきましては、採用内定者に対して、2月までに、いしかわ師範塾による採用前研修を実施することとしており、採用内定者が4月から自信と熱意を持って教師生活をスタートできるように取り組んで参ります。

【質疑】

（高野委員）

高等学校教員の福祉というのは、確か、昨年度も今年度も募集をかけて、0人だったはずですよ。それで今回4人が応募してきているんですけども、何らかの周知方法を変えたとか、特別何か工夫とかされたのでしょうか。

（高倉教職員課長）

ホームページで募集したところ、石川県以外の他県から受験される方が何名か来られたということ。あと今回特別選考ということで、免許を持ってなくても、これまでの実習経験、実務経験から、条件を満たす方は受験できるということで、そういう方が1名受験されました。ということで、4名の受験者がありました。

報告第2号 石川県立あすなろ中学校の開校に向けて（出願状況）について（北島次長兼学校指導課長説明）

報告第2号の「石川県立あすなろ中学校の出願状況」について、ご説明いたします。

1の、出願状況についてです。

あすなろ中学校の出願期間は、9月2日から11月29日であり、12月13日現在で13名の出願がありました。なお、出願期間以降も、入学願書を受け付けることとしております。

2の、今後の入学までのスケジュールについてです。

12月下旬に出願者へ結果を通知します。結果とともに送付した誓約書を、令和7年1月下旬までに提出していただき、入学者が決定することとなります。

また、出願期間以降の入学希望者については、願書受付後、随時、入学手続きを実施することとなっております。

【質疑】

（辻委員）

出願者の方はどういう方が今回出願されていますか。

（北島次長兼学校指導課長）

歳でいうと10代から70代まで、かなり幅広い方々に出願していただいております。入学を希望した主な理由としては、かつて十分学べなかったであるといったところを聞いております。

（辻委員）

外国籍の方っていうのはいましたか。

（北島次長兼学校指導課長）

今のところおりません。

（新屋委員）

12月下旬に結果を通知っていうふうには書いてあるんですけど、これ何か試験か面接を行ったのでしょうか。

（北島次長兼学校指導課長）

出願後、入学希望者と教員が面接をいたします。

それから願書の実際の記載内容を見まして総合的に判断して、合否を決めるということになっております。

（新屋委員）

不合格になる場合もあり得るということですか。

(金子次長)

合否というよりも、入学を許可するかどうかという話です。お断りする一番わかりやすい例は、私は数学だけ勉強したい。他は嫌なんです。というわけにはいかない。普通の中学校と同じなので、全教科学習していただきます。

あともう一つは、日本語が得意ではありません。日本語指導だけ受けたいんです。というのもちよっとこれは無理です。

一番見ているのは本当にあすなろ中で頑張っって勉強しようという気持ちがあるかどうか、ここを一番大事にして見えています。

(眞鍋委員)

今後まだ増えるかもしれないということですがけれども、13人というのは初年度の見込みとしてはこんなものかなという感じなんではないでしょうか。

(金子次長)

しらさぎ中学校を少し例にしているんですが、やっぱりしらさぎ中学校さんでも同じような同時期の段階では14,5人でした。

その後1月、2月、3月で10から20人増えた。そのために何をしたかと言ったらあすなろ中学校の存在が知られているかどうかが一番大事です。本県のあすなろ中学校が、ちゃんとあるんですよっていう周知が行き届いているかどうか問題なので、いま、新聞折り込み、ポスティングによってその周知をもう一度図っているところです。そうしたことによって、またお問い合わせの電話が今かかっている状況です。ですから、最終的には、20人ぐらいにならないかなと思っております。

報告第3号 令和6年度いしかわ高校生グローバル人材育成推進事業の実施状況等について（北島次長兼学校指導課長説明）

報告第3号の「令和6年度いしかわ高校生グローバル人材育成推進事業の実施状況等」につきましてご説明いたします。

令和6年度派遣留学生であります。今年度は、公立、私立高校、高等専門学校20校から40名の生徒を派遣いたしました。

派遣留学先ですが、オーストラリア、イギリス、アメリカ、カナダ、大韓民国など、15カ国に留学しております。

留学先での活動内容につきましては、語学研修に加え、それぞれ現地にて自ら設定した探究活動を行うとともに、現地での交流の中で石川県や日本の文化を現地の方に伝えるアンバサダー活動も行っております。

生徒の感想としては、一人で勇気を出して行動するようになった、日本のよさをあらためて感じた、先入観にとらわれずに生きることの大切さを感じた、人生を変える留学となったなど、大変有意義な留学であったことがうかがえます。

令和7年度の募集につきましては、募集人数は今年度同様約50名を予定しております。応募期間と留学期間をご覧の通りです。

なお、12月7日（土）には、支援企業の方々にもご参加いただき、今年度の留学生在が成果発表を行いました。今後留学を考えている高校生や中学生及び保護者、支援企業など、約200名の方々に参加していただき、自身の留学を振り返るとともに次年度の募集に向けたよい機会となりました。

引き続き、こうした取組を通して世界の異なる文化や考え方を理解するとともに、課題解決に向けて主体的にチャレンジする姿勢と創造性を身に付けたグローバル人材の育成を推進してまいりたいと考えています。

【質疑】

（辻委員）

この事業は何年前からされているのかということと、実際、50名って書いてあるんですけど、毎年どれぐらいの人数の方が応募して、定員割れとかしているのか、どんどん増えているとか、行きたいと思ったら全員行けるのか。その辺をお伺いしたい。

（北島次長兼学校指導課長）

この事業は令和5年度に始めまして準備を進めてまいりました。

令和6年度が今回初めての留学生が飛び立ったという事業でございます。

応募人数は約50名を予定しておりましたが、40名の応募がありまして、基本的には全員が留学をしております。

その流れで次の年も50名を予定しているということでございます。

（北野教育長）

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 41 号 石川県文化財保護審議会委員の委嘱について

池田文化財課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

議案第 42 号 教職員の人事について

高倉教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・ 閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。